

別記様式第1号（第9条関係）		【接待飲食店営業】		（個人用）	
その1		※受理年月日		※許可年月日	記載例
		※受理番号		※許可番号	
許可申請書					
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第5条第1項の規定により許可を申請します。					
令和〇〇年〇〇月〇〇日					
広島県公安委員会 殿					
申請者の氏名又は名称及び住所					
※行政書士等による代理申請の場合					
申請代理人 住所、氏名		広島県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号			
申請者本人 住所、氏名		甲 乙 太 郎			
(ふりがな) 氏名又は名称		こうおつ たろう			
		甲 乙 太 郎			
住 所		〒 (730-△△△△) 広島県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 (082) 〇〇〇局 〇〇〇〇 番			
(ふりがな) 営業所の名称		らうんじ ひろしま			
		ラウンジ 広 島			
営業所の所在地		〒 (730-△△△△) 広島県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 □□ビル5階 (082) 〇〇〇局 〇〇〇〇 番			
風俗営業の種別		法第2条第1項第 1 号の営業（カフェー）			
(ふりがな) 管理者の氏名		おつ だ いち ろう		選 任 状 況	① 専任 2. 兼任
		乙 田 一 郎			
管理者の住所		〒 (730-△△△△) 広島県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 (082) 〇〇〇局 〇〇〇〇 番			
(ふりがな) 法人にあつては、 その役員の氏名		法人にあつては、その役員の住所			
代 表 者					
滅失により廃止した風俗営業	廃止の事由		廃止年月日		許可番号
	滅失特例許可申請は、手数料額・添付書類が異なるので、係に確認		年 月 日		
現に風俗営業許可等	許可年月日	年 月 日	許可番号		
を受けて営む風俗営業	営業所の名称及び所在地				

その2 (A) (法第2条第1項第1号から第3号までの営業)					記載例
営業所の構造及び設備の概要	建物の構造	鉄筋鉄骨コンクリート造5階建			
	建物内の営業所の位置	5階の一部(501号室)			
	客室数	1 室	営業所の床面積	40.0 m ²	
	客室の総床面積			24.0 m ²	
	各客室の床面積	24.0 m ²		m ²	
		m ²		m ²	
	照明設備	客室の天井に100Wの蛍光灯6基取付け。 営業所の他の部分には、天井に60WのLED灯3基取付け。 (位置等は、別添見取図に記載)			
	音響設備	〇〇社製の通信カラオケ装置(アンプの最大出力〇〇W、天井つり下げ型スピーカー1台付属)を客室に設置 (位置等は、別添見取図に記載)			
	防音設備	厚さ〇〇mmのコンクリート壁に〇〇mmの断熱・防音材を内装			
	その他	営業所の出入口は、1ヵ所のみ			
※ 風俗営業の種類					
※ 兼 業					
※ 同時申請の有無		① 有 ② 無	※ 受理警察署長		
※ 条件	年 月 日				
	年 月 日				
	年 月 日				

備考

- 1 ※印欄には、記載しないこと。
- 2 「滅失により廃止した風俗営業」欄は、法第4条第3項の事由により滅失したために廃止した風俗営業に係る事項を記載すること。
- 3 「現に風俗営業許可等を受けて営む風俗営業」欄は、申請に係る営業所以外の営業所において当該申請に係る公安委員会から現に風俗営業許可等を受けて営んでいる風俗営業で、当該申請の日の直近の日に許可を受けたものについて記載すること。
- 4 その2 (A) は法第2条第1項第1号から第3号までのいずれかの営業について許可を申請する場合に、その2 (B) は同項第4号の営業について許可を申請する場合に、その2 (C) は同項第5号の営業について許可を申請する場合に、その3は同項第4号の営業のうち法第4条第4項に規定する営業(例、ぱちんこ屋)について許可を申請する場合に使用すること。
- 5 「建物の構造」欄には、木造家屋にあつては平家建て又は2階建て等の別を、木造以外の家屋にあつては鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、れんが造又はコンクリートブロック造の別及び階数(地階を含む。)の別を記載すること。
- 6 「建物内の営業所の位置」欄には、営業所の位置する階の別及び当該階の全部又は一部の使用の別を記載すること。
- 7 「照明設備」欄には、照明設備の種類、仕様、基数、設置位置等を記載すること。
- 8 「音響設備」欄には、音響設備の種類、仕様、台数、設置位置等を記載すること。
- 9 「防音設備」欄には、防音設備の種類、仕様等を記載すること。
- 10 「その他」欄には、出入口の数、間仕切りの位置及び数、装飾その他の設備の概要等を記載すること。
- 11 法第2条第1項第3号の営業にあつては、その2 (A) の「各客室の床面積」欄には、各客席の床面積を記載すること。
- 12 その2 (B) の「その他の遊技設備」欄には、まあじゃん台及び法第4条第4項に規定する営業に係る遊技機以外の遊技設備について、その種類、型式及び台数を記載すること。
- 13 その2 (C) の「スロットマシン等」欄には、スロットマシンのほか、メダルゲーム機について記載すること。
- 14 その3の「備考」欄には、新品か中古品かの別を記載すること。
- 15 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。
- 16 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

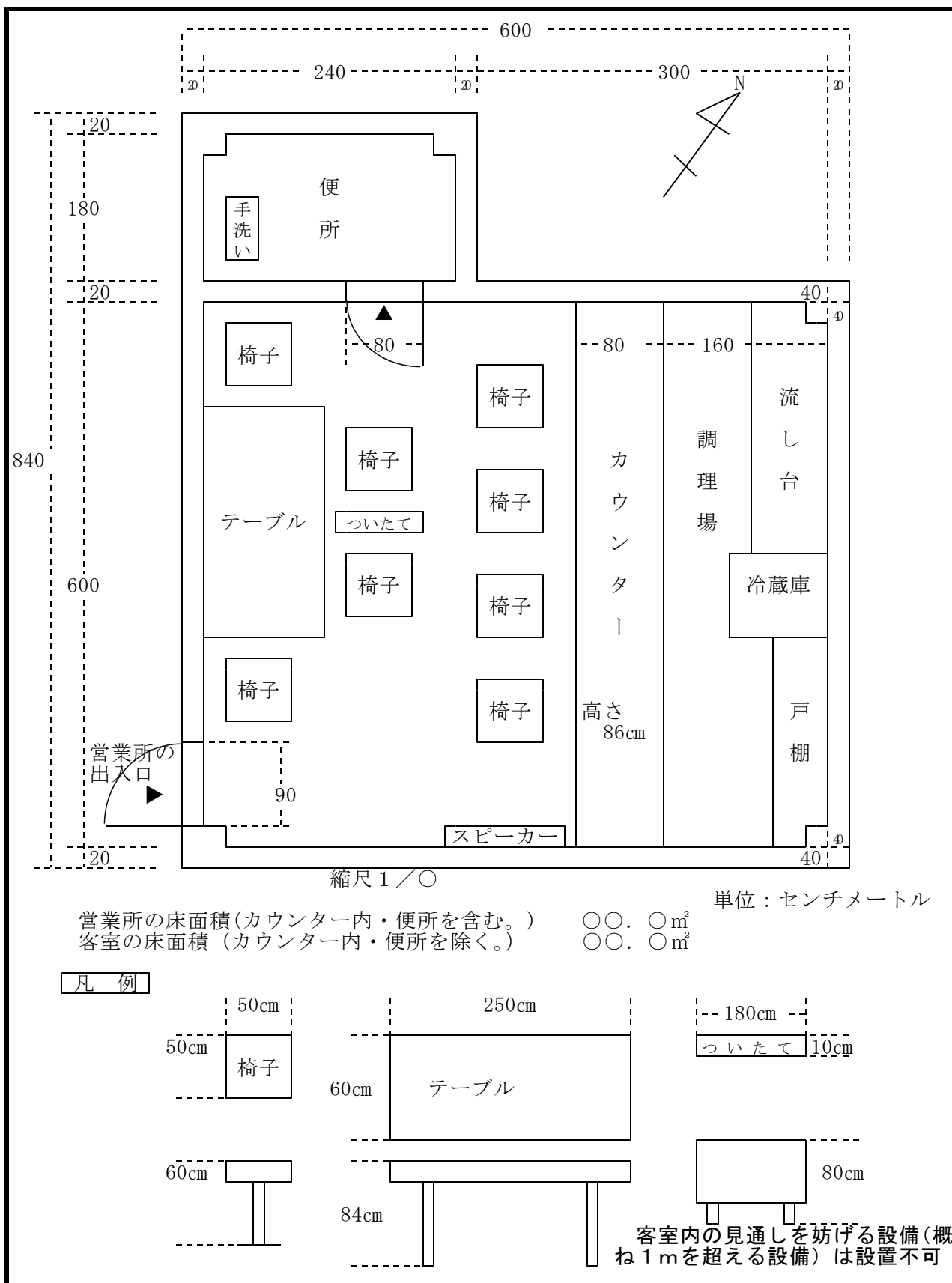
その1	記載例
営 業 の 方 法	
営業所の名称 ラウンジ広島	
営業所の所在地 広島県〇〇市〇町〇丁目〇番〇号 □□ビル5階	
風俗営業の種別 法第2条第1項第1号の営業	
営 業 時 間	午前 9 時 0 0 分から 午前 1 1 時 0 0 分まで 午後 午前 午後 午後 ただし、午前 1 時まで営業可能 の日にあっては 午前 9 時 0 0 分から 翌午前 1 時 0 0 分まで 午後 午後
18歳未満の者を従業者として使用すること	①する ②しない ①の場合：その者の従事する業務の内容（具体的に）
18歳未満の者の立入禁止の表示方法	営業所出入口ドアに「18歳未満立入禁止」の表示板を掲示
飲食物（酒類を除く。）の提供	①する ②しない ①の場合：提供する飲食物の種類及び提供の方法 冷凍食品（ピラフ、焼きそば等）を加熱処理して販売 ピーナッツ等乾き物をテーブル上にカゴに入れて提供 自動販売機により、コーヒー、清涼飲料水等を販売
酒 類 の 提 供	①する ②しない ①の場合：提供する酒類の種類、提供の方法及び20歳未満の者への酒類の提供を防止する方法 ビール、ウイスキー、焼酎等を客の注文に応じ、客のテーブルに運び提供 入店時に身分証等の提示を求めて確認
当該営業所において他の営業を兼業すること	①する ②しない ①の場合：当該兼業する営業の内容

その2（A）（法第2条第1項第1号から第3号までの営業）						記載例		
料 金		1 時間5000円のセット料金 指名料1000円 カラオケ 1 曲100円 別添料金表のとおり						
料 金 の 表 示 方 法		料金表を営業所内の見えやすい場所に掲示するほか、各テーブルに表示						
役 務 提 供 の 態 様	客の接待をする場合はその内容		特定の客の横にはべり、談笑の相手をしたり、酌をしたり、カラオケを客と一緒に歌う					
	客の接待をする場合は接待を行う者の区分	常時当該営業所に雇用されている者	5 名（男2名、女3名）					
		それ以外の者	名					
			主たる派遣元	（ふりがな） 氏名又は名称		※コンパニオン派遣業者等から派遣を受ける場合に記載		
				住 所		〒（ ） （ ） 局 番		
			（ふりがな） 法人にあっては、その代表者の氏名		-----			
	客に遊興をさせる場合はその内容及び時間帯		遊 興 の 内 容	客にダンス、ショーを見せる				
		時間帯	午前 8 時 0 0 分から 午後 9 時 0 0 分まで 午後 午後					
(法第2条第1項第1号の営業のみ記載すること)								
客 室		和風のもの			室		その他のもの 1 室	

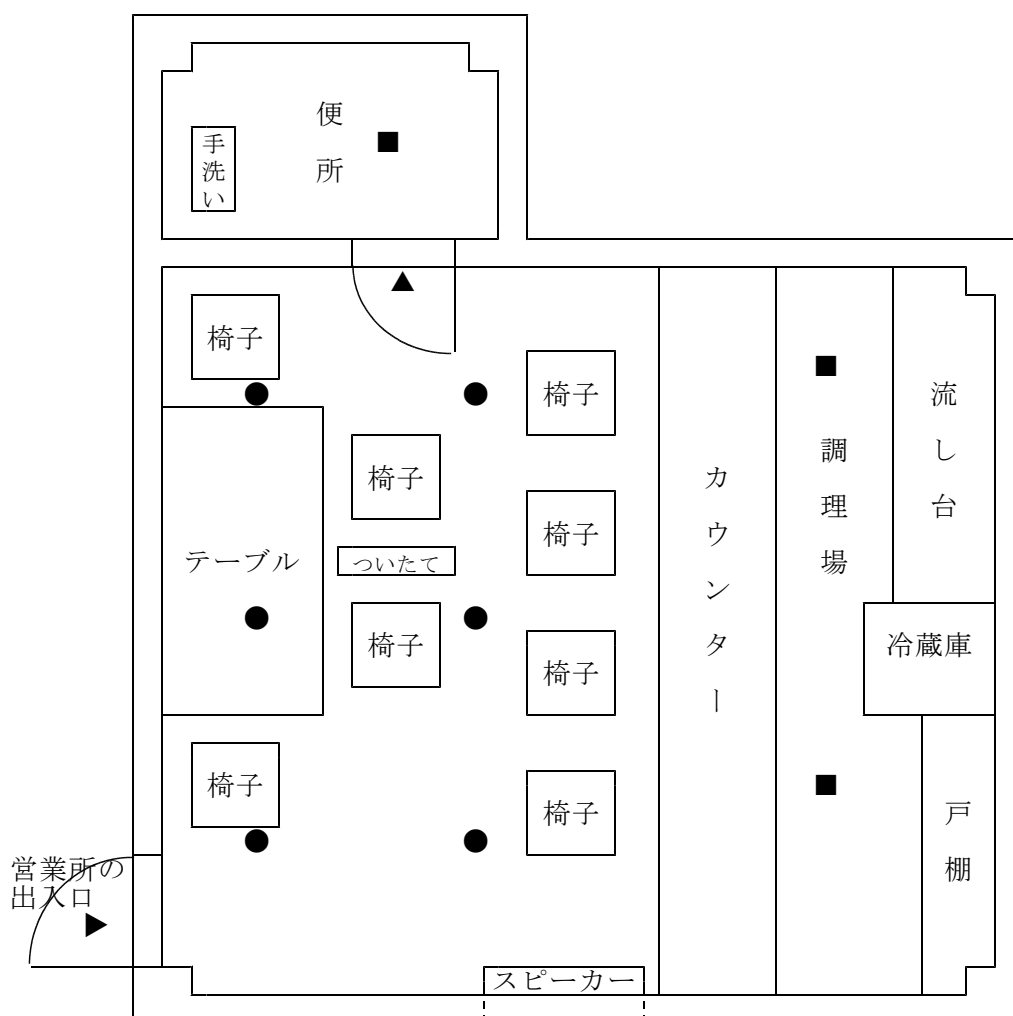
備考

- その1の「提供する飲食物の種類及び提供の方法」欄には、営業において提供する飲食物（酒類を除く。）のうち主なものの種類及びその提供方法（調理の有無、給仕の方法等）を記載すること。
- その1の「提供する酒類の種類、提供の方法及び20歳未満の者への酒類の提供を防止する方法」欄には、営業において提供する酒類（ビール、ウイスキー、日本酒等）のうち主なものの種類、その提供の方法（調理の有無、給仕の方法等）及び20歳未満の者への酒類の提供を防止する方法を記載すること。
- その2 (A) は法第2条第1項第1号から第3号までのいずれかの営業について許可を申請する場合に、その2 (B) は同項第4号の営業について許可を申請する場合に、その2 (C) は同項第5号の営業について許可を申請する場合に使用すること。
- その2 (A) 又はその2 (C) の「料金」欄には、第34条の表の上欄に掲げる営業の種別に応じ、それぞれ同表の下欄に定める料金を記載すること。
- その2 (A) 又はその2 (C) の「料金の表示方法」欄には、その2 (A) 又はその2 (C) の「料金」欄に記載した料金を表示する方法が第33条の各号のいずれに該当するかを記載すること。
- その2 (A) の「客の接待をする場合はその内容」欄には、接待の種類（談笑及びお酌、踊り、歌唱、遊戯等の別）及びこれを行う方法（特定少数の客の近くにはべり談笑の相手となる、客と一緒に歌う等）を記載すること。
- その2 (A) の「遊興の内容」欄には、遊興の種類（ダンス、ショー、生演奏、ゲーム等）、これを行う方法（不特定の客に見せる、聞かせる等。カラオケ、楽器等を利用して遊興をさせる場合は、その利用方法。）を記載すること。
- その2 (B) の「遊技料金の表示方法」欄には、その2 (B) の「遊技料金」欄又は「ぱちんこ屋及び令第8条に規定する営業の遊技料金」欄若しくは「その他の営業の遊技料金」欄に記載した遊技料金を表示する方法が第33条各号のいずれに該当するかを記載すること。
- 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。
- 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

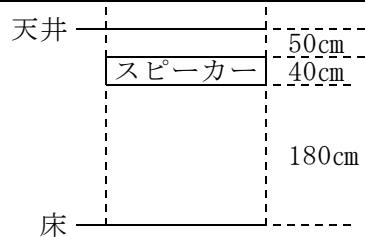
営業所の平面図記載例



「照明設備・音響設備」欄の別紙記載例



(音響設備)



(照明設備)

- 蛍光灯 (100ワット)
- LED (60ワット)

